

第7回懇談会 平面計画案における主な意見

校舎平面	<ul style="list-style-type: none"> • 1階理科室前に学習園が設けられており、観察が行いやすくなっている。 • 中庭・吹抜けが東西に分かれ通路が出来たため、緊急時の避難経路も十分に確保された。 • 東側の階段が生活環境、採光上よい場所を塞いでしまっており、改善の検討が望ましい。 • 給食室の近くにエレベーターが位置され、給食配膳車の移動が円滑にできるようになった。 • 学校支援本部室とPTA室は一つの空間とし、必要に応じて間仕切りできる形が望ましい。 • 1階の多目的室は、学童以外の子どもたちが遊びに来て、集える場所になることを望む。 • 特別支援学級は、1年生との交流があるため2階に配置されていてよい。 • 特別支援の子どもたちは、2階デッキから他の学年の校庭の動きを見ることができ、一方で、通常学級の子どもたちは、メイン階段や体育館動線によって特別支援学級の存在を意識することができる配置となっていて相互に関わりを持てる。
体育館	<ul style="list-style-type: none"> • 体育館は500人以上の子どもが集まる場所であり、災害時には避難生活を送ることになる。光化学スモッグの発生やボールの音を心配する近隣に対して、窓を開けられず、室内の暑さが心配されることから、空調設備を設けて欲しい。 • 体育館及びホワイエ周辺の天井高の差を使うなど、体育館の通風確保の工夫は必要だ。
外構・校庭・その他	<ul style="list-style-type: none"> • 正門付近は、子どもたちが大勢たまることになるので、門扉を下げて開放空間を設ける方がよい。 • 昇降口の動線が分かるようにガイドになるようなデザインの工夫が必要だ。 • 1階の昇降口、ポーチは、朝、子どもたちを迎える場所であり、お客様を迎える空間であるため、学校の顔としていいものにして欲しい。 • 砂場は遊具側に置いた方がよい。 • 小規模遊び場には、トイレを付けて欲しい。 • 南側のバルコニーは、夏の採光を調整する重要な役割があるため不可欠なものだ。